

# Coffee Market Report

December 2025



INTERNATIONAL COFFEE ORGANIZATION

## 供給懸念の後退を受けICO複合指標価格は下落

### エグゼクティブサマリー 国際コーヒー市場(2025年12月)

ICO複合指標価格(I-CIP)は2025年12月に平均304.68セントとなり、11月から7.8%低下した。

I-CIPは2025年11月中旬から12月中旬にかけて急速に下落し、343.92セントから283.21セントまで低下したのち、2025年12月31日までには293.09セントまで一部反発した。

この下落は、世界的な供給見通しの改善、政策不確実性の低下、ブラジルレアルの下落によって生じたものであり、これらが生産者の売りを後押しした。2025年12月におけるI-CIPの総体的な下落は、全てのコーヒーグループに及んだ。

- コロンビアマイルドおよびアザーマイルドの価格は、2025年12月にそれぞれ11月比で6.5%および7.1%下落し、平均382.32セントおよび381.14セントとなった。
- ブラジルナチュラルは2025年12月に6.5%縮小し、355.38セントとなった。
- ロブ스타は11.3%低下して190.53セントとなり、過去1年間、アラビカ価格に対して相対的に弱い推移を続けたことが改めて示された。

十分な供給に支えられて、コーヒー輸出は2025年11月も増加を続けた。世界の生豆輸出は2025年11月に895万袋に達し、4.8%増加した。ブラジルナチュラルとコロンビアマイルドを除く全てのコーヒーグループが、前年同月比で輸出増加を記録した。

- ロブ스타の生豆輸出は、2024年11月の253万袋から2025年11月には324万袋へと28.0%増加した。
- コロンビアマイルドの輸出は、2024年11月の125万袋から2025年11月には124万袋となり、0.9%減少した。
- ブラジルナチュラルの輸出は、2024年11月の381万袋から2025年11月には325万袋となり、14.7%減少した。この減少は、部分的には2024年11月にブラジルの輸出が例外的に高水準であったことによって説明される。
- アザーマイルドの輸出は、2024年11月の95万袋から2025年11月には122万袋となり、28.8%増加した。
- 生豆輸出に占めるアラビカのシェアは、2024年11月時点の70.4%から2025年11月には63.8%へと低下した。

4地域のうち3地域が新たなコーヒー年度を輸出増加でスタートさせる一方で、南米のみがマイナスでのスタートとなった。

南米の輸出は依然としてベース効果の悪影響を受けており、同地域はコーヒー年度2023/24において過去最高の6,722万袋を出荷した一方で、コーヒー年度2018/19～2022/23の平均は5,746万袋であった。

したがって、コーヒー年度2024/25における落ち込みは予想されており、その傾向はコーヒー年度2025/26の最初の2ヶ月においても継続している。

- アジア・オセアニアの輸出は、2024年11月の247万袋から2025年11月には363万袋へと47.0%増加した。
- アフリカの輸出は、2024年11月の131万袋から2025年11月には141万袋へと7.7%増加した。
- 南米の輸出は、2024年11月の593万袋から2025年11月には504万袋へと14.9%減少した。
- メキシコ・中米の輸出は、2024年11月の38.6万袋から2025年11月には39.1万袋へと1.2%増加した。

## 生豆価格

ICO複合指標価格(I-CIP)は2025年12月に平均304.68セントとなり、2025年11月比で7.8%の下落となつた。2025年11月中旬以降I-CIPは下落基調にあり、11月11日に直近のピークである343.92セントを付けてから12月11日までに318.13セントへと低下し、22営業日で7.5%の下落となつた。その後、I-CIPは下落ペースを加速させ、さらに6営業日で11.0%下落し、12月19日には283.21セントに達した。これは、2025年8月中旬以降では、9月中の1日を除き、I-CIPが初めて300セントを下回った場面となつた。その後、I-CIPは回復基調に転じ、7営業日で3.5%上昇し、2025年12月31日には293.09セントに達した。

Figure 1: I-CIP

図1：ICO複合指標価格



急速な減価が起こる以前から、I-CIPはすでに下落トレンドにあり、世界収支バランスの改善見通しを織り込んでいた。このトレンドは、補完的な政策要因によって一層強化された。具体的には、欧州議会が2025年11月26日に承認し、その後12月23日にEU官報で公表されたEUDRの施行延期および改訂により、遵守期限が先送りされ、実務上の実施要件が簡素化されたこと、また2025年11月14日に発表された、コーヒーを含む米国の相互関税の撤回、さらに11月20日に発表されたブラジル特定の関税の撤廃などである。こうした措置は、市場を圧迫していた一部の不確実性を取り除く結果となつた。その後の下落加速は、主として世界供給見通しの一層の改善を示唆する一連の新たな報告に加え、為替レートの変動によって引き起こされたとみられる。

- 12月4日、ブラジル国家供給公社（Companhia Nacional de Abastecimento - CONAB）は、2025年のコーヒー総生産見通しを2025年9月時点 の予測から2.4%上方修正した。
- 12月18日、米国農務省（USDA）の海外農業局は2025年の2回目の半期レポートを公表し、世界生産見通しを2025年6月時点の1億7,870万袋から1億7,880万袋へと上方修正した。修正幅自体はごく小さいものの、供給見通しが改善しつつあるという支配的な見方を補強する結果となつた。

**Figure I: Brazilian Real to US Dollar Exchange Rate\***



\*Federal Reserve Bank of St. Louis

\*セントルイス連邦準備銀行

追加要因として、ブラジルレアルの対米ドルでの下落が挙げられる。

国際コーヒー価格は米ドル建てで表示されるため、とりわけブラジルのような主要生産国においては、生産国の為替レートの変動が農家の販売インセンティブと米ドル建て価格に影響を与える。

農家は自国通貨で支払いを受けるため、他の条件が一定であれば、自国通貨高（通貨の名目上昇）は農家の受取額を減少させる一方、自国通貨安（通貨の減価）は自国通貨ベースの収入を増加させる。その結果、ブラジルレアルの減価はブラジル農家の自国通貨建て収入を押し上げ、それによってコーヒーの米ドル建て契約価格を引き下げる余地を生み、国際コーヒー価格に対する下押し圧力を一段と強めた。

これらの要因を受けて、先物市場における投機筋はロングポジションを削減したとみられ、それが価格の下落モメンタムを補強した。

米商品先物取引委員会（CFTC）の「Commitments of Traders（建玉明細）」データによれば、ノン・コマーシャル・トレーダー（非商業部門）のネットロングポジションは、2025年12月9日終了週の34,747枚から12月16日終了週には29,904枚へ、さらに12月23日終了週には23,673枚へと減少した（1枚は37,500ポンド、60kg換算で283.5袋に相当する）。

ヘッジファンドや大口投機家などの非商業トレーダーは、生豆の現物売買には関与しない。ネットロングポジションは総ロングと総ショートの差を表すものであり、2025年12月9日から23日にかけて10,984枚（60kg換算で311万袋）悪化したものの、依然としてプラス圏を維持していたことから、強気姿勢の弱まりを示唆した。

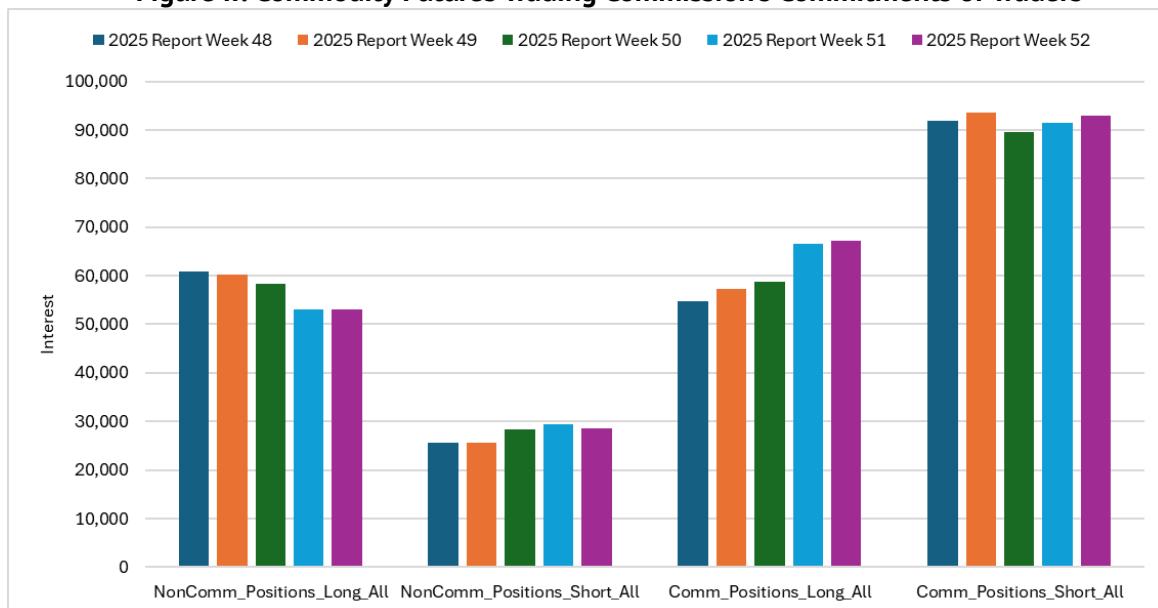
その後の12月下旬の反発は、ブラジルとインドネシアにおける2つの出来事により引き起こされたとみられる。12月22日、ブラジルの気象サービス会社Somar Meteorologiaは、ブラジル最大のアラビカ生産州であるミナスジェライス州の降水量が、12月19日終了週において38.3mmとなり、平年値のわずか76%にとどまったと報告した。これにより、2026/27年度ブラジル収穫に対する改善期待は一部後退した。

12月24日には、インドネシアコーヒー輸出業者・産業協会（AEKI）の会長が、インドネシアにおける広範な洪水により、コーヒーユニット2025/26の同国のコーヒー輸出が最大15%減少し得るとの見方を示した。報道によれば、洪水は北スマトラのアラビカ農園の約3分の1に影響を及ぼした一方で、ロブスタ作への影響は小さかった。

こうした強気材料を受けて市場は再び反応し、2025年12月30日終了週には、ノン・コマーシャルのネットポジションが870枚増加して24,543枚となり、強気センチメントの強まりを示した。

図II：米商品先物取引委員会（CFTC）建玉明細

Figure II: Commodity Futures Trading Commission's Commitments of Traders



世界のコーヒー市場は、直近4コーヒーアンダード（2021/22～2024/25）のうち3年度で供給不足を記録し、その累計赤字は1,791万袋に達した。

同時期に、欧州における公開消費在庫は、コーヒーアンダード2022/23開始時点の1,504万袋から、2025年10月31日時点には786万袋へと急減した。同様に、米国ICE倉庫に保管されている認証アラビカ在庫も、2025年1月の91万袋から2025年12月には48万袋へと減少した。

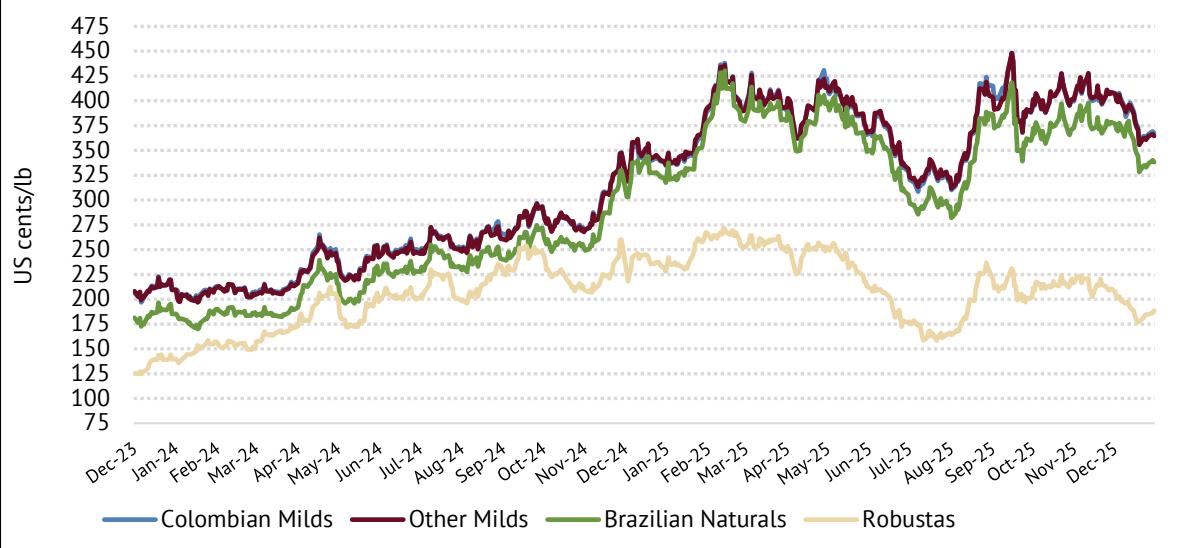
このような供給の逼迫と低在庫の環境下において、市場価格は新たな情報に対してより急激に反応しやすくなっている、その状況が2025年12月にも観察された。

コロンビアマイルドおよびアザーマイルドの価格は、2025年12月にそれぞれ11月比で6.5%および7.1%下落し、平均382.32セントおよび381.14セントとなった。ブラジルナチュラルは同月に6.5%低下して355.38セントとなった。同じく12月には、ロブスタ価格が11.3%低下して190.53セントとなった。ロブスタ価格がアラビカ価格に比べて相対的に弱含みで推移していることは、過去1年間に繰り返し観察してきた市場の特徴である。暦年2025年において、ロブスタ価格は（2024年12月31日対2025年12月31日）16.7%下落した一方、アラビカ価格はコーヒーグループによって6.2～9.4%の上昇となった。

ロンドンICE商品取引所の価格は、2025年12月に11.6%低下し178.87セントとなり、ニューヨークICE市場の価格も同月に6.9%下落して347.71セントとなった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices

図2：ICOグループ指標価格



コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2025年11月から12月にかけて、-1.56セントから1.18セントへと縮小した。

コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は5.7%縮小し、26.95セントとなった。同様に、コロンビアマイルドとロブ스타の価格差も同じ方向に動き、11月から12月にかけて1.1%縮小して191.80セントとなった。

一方で、アザーマイルドとブラジルナチュラル、アザーマイルドとロブ스타の価格差は、それぞれ-14.5%および-2.4%動き、25.76セントおよび190.61セントとなった。

ブラジルナチュラルとロブ스타の価格差は、2025年12月に0.2%縮小して164.85セントとなった。

ロンドンおよびニューヨークの先物市場間のアービトラージは、2025年12月に1.4%縮小し、168.85セントとなった。

I-CIPのボラティリティは、2025年11月と比べて1.5ポイント低下し、2025年12月には平均9.6%となった。

コロンビアマイルドおよびアザーマイルドのボラティリティも同様のトレンドを示し、それぞれ10.2%および9.8%へと低下した。一方、ブラジルナチュラルのボラティリティは前月比で1.3ポイント縮小し、2025年12月には11.0%となった。ロブ스타のボラティリティも10.9%へと低下した。

ニューヨークおよびロンドンの先物市場におけるボラティリティは、それぞれ11.0%および11.6%となり、2025年12月には11月と比べて1.5ポイントおよび1.2ポイント低下した。

図3：ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

Figure 3: Arbitrage between New York and London futures markets

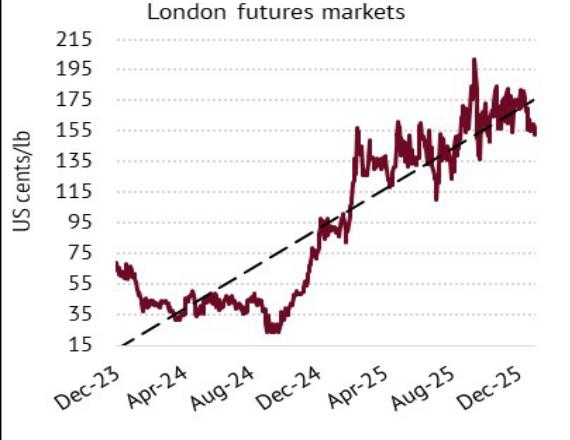
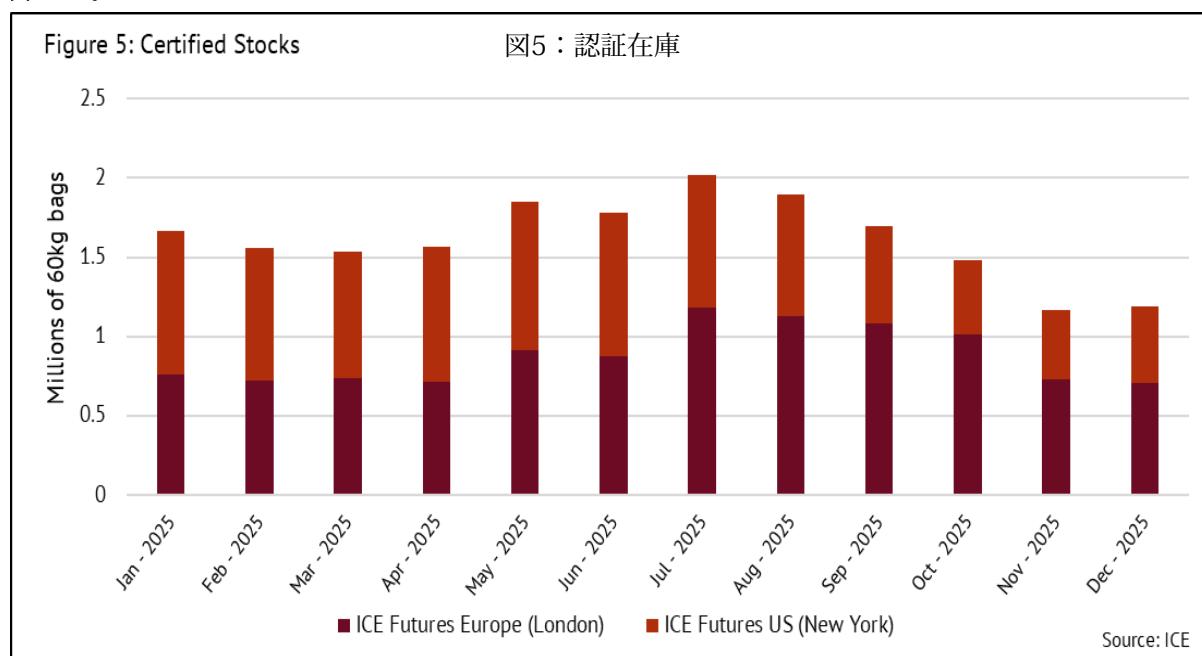


図4：ICO複合指標価格のローリング30日移動平均

Figure 4: Rolling 30-day volatility of the I-CIP

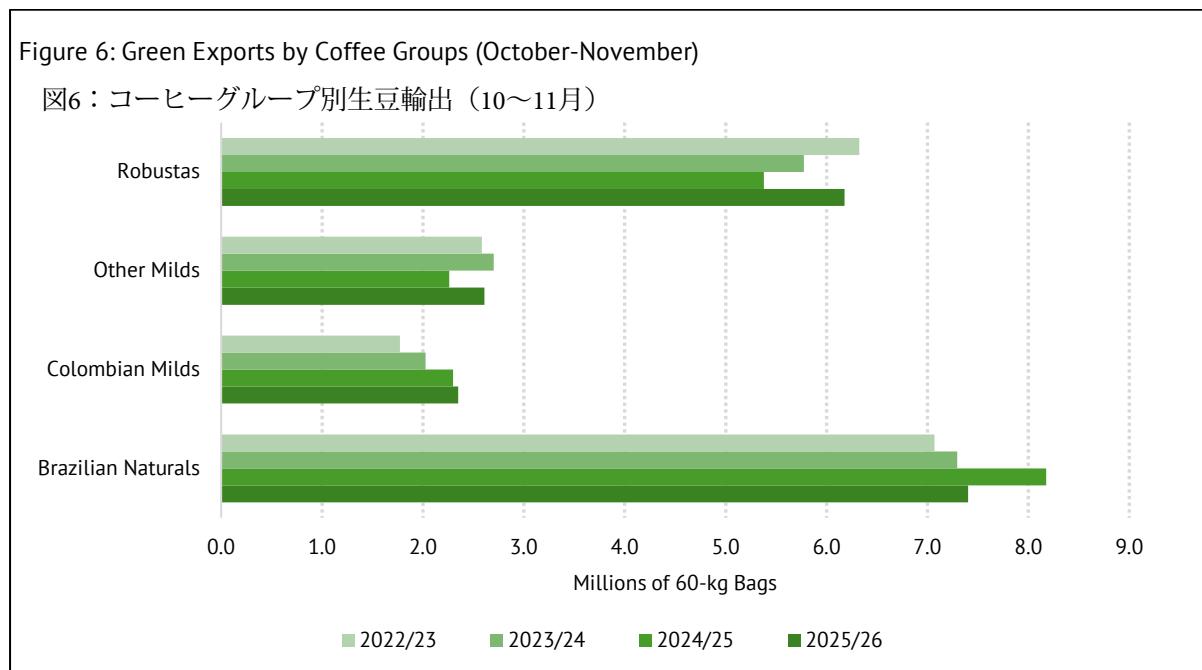


ロブスタの認証在庫は、2025年11月から12月にかけて2.7%減少し、12月末時点で71万袋となった。一方、米国におけるアラビカの認証在庫は逆の動きを示し、11月比9.7%の増加となる48万袋へと上昇した。



## コーヒーグループ別輸出一生豆

2025年11月の世界の生豆輸出は合計895万袋となり、2024年11月の854万袋と比較して4.8%増加した。アザーマイルドとロブ스타は、新コーヒ一年度のスタートにあたり、絶対量ベースでもっとも大きな前年比増加を記録した。これに対し、ブラジルナチュラルとコロンビアマイルドは前年比減少となった。



ロブスタの生豆輸出は、2024年11月の253万袋から2025年11月には324万袋へと28.0%増加し、その主因はベトナムであった。同国の出荷量は147万袋へと93.2%急増した

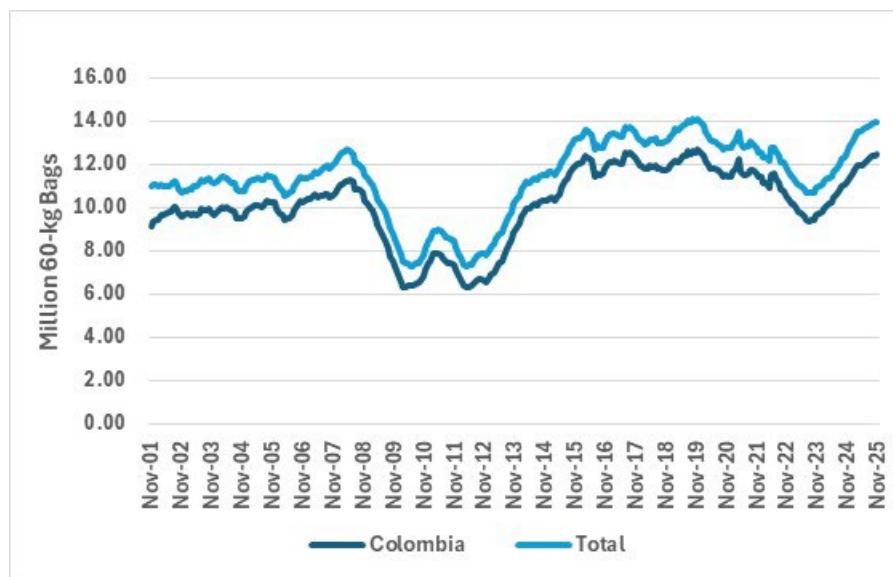
インドネシアとウガンダもプラスに寄与し、それぞれ輸出が27.0%および75.5%増加した。これらの増加は、ブラジルにおけるロブスタ輸出の減少によって一部相殺された。同国のロブ스타輸出は65.3%減少して22万袋となった。総じて、このパターンはコーヒー年度2024/25にロブ스타で観察されたトレンドと整合的であり、ブラジルの輸出減少と、インドネシア・ウガンダ・ベトナムからの輸出増加によって特徴づけられた。

ベトナムとブラジルのケースでは、こうした急激な前年比変化は構造変化というよりも主として正常化を反映している。すなわち、ベトナムは供給要因による落ち込みから回復している一方、ブラジルは2023/24に見られた異例の高水準から後退している。ブラジルは2023/24に937万袋を輸出し、過去5年平均の352万袋を大きく上回った。これは、インドネシアとベトナムからの出荷減少によって生じた世界ロブスタ供給の空白をブラジルが埋めた結果であった。これと対照的に、ウガンダの成長は構造的とみられ、同国の輸出は2023/24中盤以降、持続的な上昇トレンドを示している。2024/25には輸出が732万袋と過去最高を記録し、増産、高い国際価格、在庫取崩しの拡大によって支えられた。ウガンダは2030年までに2,000万袋の生産という公式目標を掲げている。

コロンビアマイルドの輸出は、2024年11月の125万袋から2025年11月には124万袋へと0.9%減少した。これは、2カ月ぶりに記録されたマイナス成長であり、コロンビアにおける慎重な拡大が、ケニアとタンザニアのより急激な減少によって相殺された結果であった。

コロンビアマイルドグループにおけるコロンビアのシェアが支配的であることから、通常は同国の動向がグループ全体のダイナミクスを左右すると想定される。しかし今回は、コロンビアの輸出がネットで4.6万袋増加した一方、ケニアとタンザニアは合計で5.7万袋のネット減少を2025年11月の前年比で記録した。コーヒー年度2024/25におけるコロンビアマイルドの輸出は合計1,390万袋であり、そのうちコロンビアが1,239万袋を占めた。これは、グループ全体として8番目に大きい輸出量であるとともに、コロンビアとしては6番目に大きい水準となった。このことは、コロンビアマイルドの輸出が現在の能力上限に接近しつつある可能性を示唆しており、もっとも、将来の投資次第ではこの上限は変化し得る。

**図 III : 12カ月移動合計 (MMT) —コロンビアおよびグループ全体のコロンビアマイルド輸出 (2001年11月～2025年11月)**

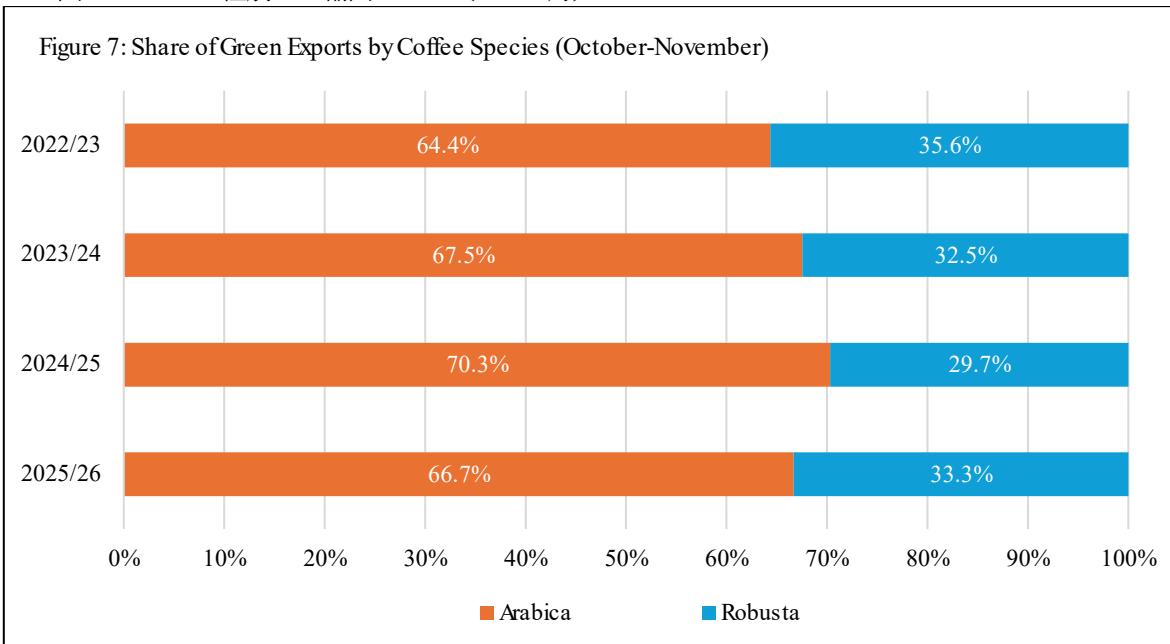


アザーマイルドの出荷は、2024年同月の95万袋から2025年11月には122万袋へと28.8%増加した。同グループの2桁成長を主導したのはペルーであり、同国の輸出は2025年11月に55.1%増加して55万袋となった。この増加は、ペルー特有の顕著な隔年生産サイクルを大きく反映しており、当該コーヒー年度は「表作」に該当する。

ブラジルナチュラルの生豆輸出は、2024年11月の381万袋から2025年11月には325万袋へと14.7%減少した。ブラジルナチュラルは2025年11月に9カ月連続となるマイナス成長を記録し、その主因はブラジルであった。同国の輸出は、1年前の327万袋から18.4%減少し267万袋となった。

コーヒーワード2020/21～2024/25の間、ブラジルは同グループ輸出の平均85.3%を占めており、そのパフォーマンスがグループ全体のトレンドを左右してきた。足元の落ち込みは、ブラジルのアラビカ生産の周期性、2023/24における記録的な「表作」輸出（21.7%増）に起因するベース効果、そしておそらく2025年に引き上げられた米国関税の影響を反映しているとみられる。

図7：コーヒー種別生豆輸出シェア（10～11月）

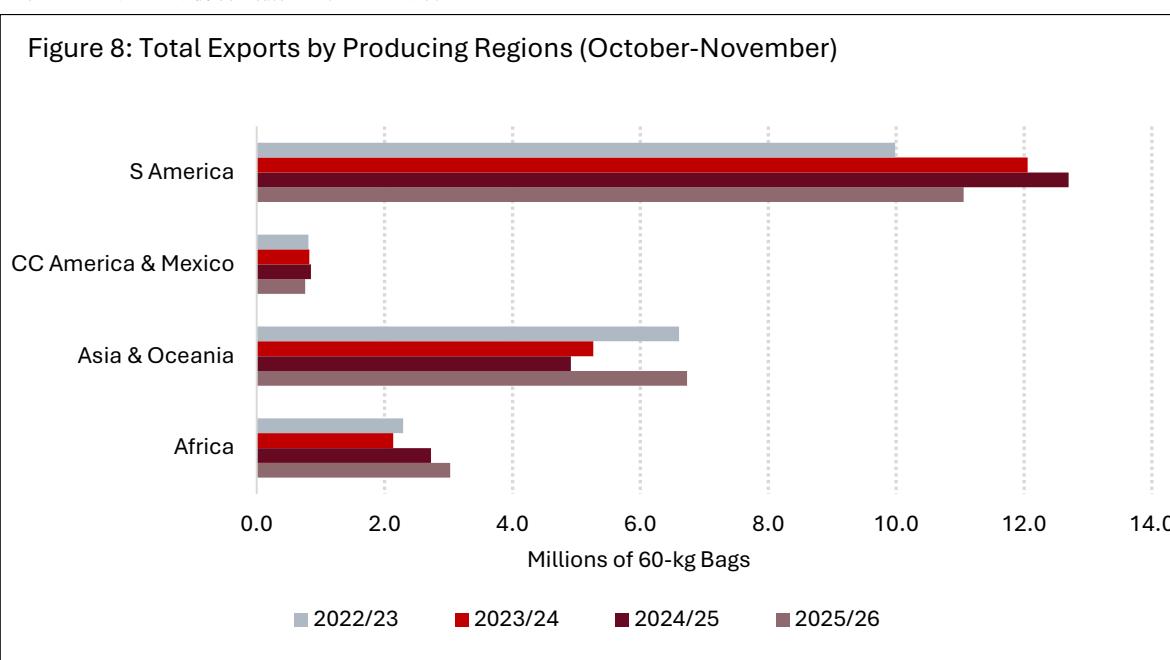


アラビカの総輸出は、2024年11月の601万袋から2025年11月には571万袋へと4.9%減少した。その結果、コーヒーワード2025/26の最初の2ヶ月における生豆総輸出に占めるアラビカのシェアは、前年同期の70.3%から66.7%に低下した。

## 地域別コーヒー輸出－全形態

世界の全形態のコーヒー輸出は、2024年11月の1,009万袋から2025年11月には1,047万袋へと3.8%増加した。4地域のうち3地域が輸出の拡大を記録した一方で、南米のみが減少となった。

図8：生産地域別総輸出（10～11月）



**アジア・オセアニアからの全形態のコーヒー輸出は、2024年11月の247万袋から2025年11月には363万袋へと47.0%増加した。**同地域の2025年11月における2桁成長を主導したのはベトナムであり、同国の輸出は1年前の120万袋から192万袋へと60.1%増加した。ベトナムは、2023/24収穫の不振の影響を引き続き受けており、それにより輸出は2,509万袋まで落ち込み、国内供給は歴史的低水準に達するとともに、国内在庫はほぼ枯渇した。この不作の影響は、2024/25コーヒ一年度の新たな収穫からの供給が本格的に輸出チャネルへ流入し始める2025年12月まで完全には緩和され得なかった。その結果、2025年11月のベトナム全体からの輸出は、2024年11月の輸出量（120万袋）が、2019年11月～2023年11月の平均185万袋と比較して低水準であったことに起因する「ベース効果」の恩恵を受けている。インドネシアもまた、同地域の2桁成長に寄与し、同国の輸出は2024年11月の77万袋から2025年11月には107万袋へと39.0%増加した。コーヒ一年度2025/26の最初の2カ月において、同地域からの総輸出は24.6%増加しており、これはコーヒ一年度2024/25に記録された22.5%の年間成長率（同年度の出荷が前年の669万袋から1,021万袋へ増加）と整合的である。

**アフリカからの全形態のコーヒー輸出は、2024年11月の131万袋から2025年11月には141万袋へと7.7%増加した。**アフリカのコーヒー輸出は、2025年8月を除き拡大を続けており、同地域はコーヒ一年度2023/24の開始以降、プラス成長を維持してきた。この結果、アフリカはコーヒ一年度2024/25を総出荷1,972万袋で終え、2025年11月には12カ月移動合計（MMT）が2,002万袋に達した。これは、同地域のMMTが初めて1,900万袋を上回ったことを意味する。2025年11月の拡大は、主としてウガンダによって牽引され、同国の輸出は1年前の40万袋から推定69万袋へ、72.0%増加した。

ウガンダの輸出は2023/24中盤以降、急峻な上昇軌道を描いており、コーヒ一年度2024/25には826万袋に達して、初めて700～800万袋のレンジを上抜けた。この成長は、生産量の増加、高い国際コーヒー価格、および在庫取崩しの拡大に支えられている。ウガンダは2030年までに2,000万袋の生産を達成するという目標を掲げている。

一方で、もう一つの重要なアフリカの生産国であるエチオピアのパフォーマンスは弱く、同国の輸出は2025年11月に14.8%減少した。この落ち込みは、同国の最近の輸出トレンドとは対照的である。実際、コーヒ一年度2024/25を通じてエチオピアは顕著な輸出増加を記録し、743万袋を輸出して初めて600～700万袋のレンジを上回った。この拡大は、約991万袋と見積もられる収穫、そして強い国際価格によって支えられたものであり、より通常を上回る在庫取崩しを通じて輸出可能供給が増加した可能性を示唆する。

**2025年11月には、南米からの全形態のコーヒー輸出が、2024年11月の593万袋から504万袋へと14.9%減少した。**南米は、16カ月連続のプラス成長の後、2025年11月に13カ月連続となるマイナス成長を記録した。この下落は主としてブラジルによって引き起こされ、同国のロブスタ輸出は、1年前の430万袋から319万袋へと25.8%減少した。ブラジルは依然として、ベース効果および、2023/24の国際ロブスタ市場の空白（インドネシアとベトナムからの出荷減少による）の後における両国供給の正常化の影響を受けている。コーヒ一年度2023/24にブラジルのロブスタ出荷は異例に高い937万袋となり、2018/19～2022/23の5年間平均である352万袋を大きく上回った。インドネシアとベトナムの供給が2024/25に通常水準へ戻ったことにより、ブラジルの輸出は490万袋まで減少し、南米の前年比マイナスに引き続き寄与した。したがって、2024/25の下落は不可避であり、その傾向はコーヒ一年度2025/26の最初の2カ月にも継続している。

コロンビアのコーヒー輸出は、2025年11月に1.7%増加し、10月の1.3%増に続いて拡大した。2023年11月から2025年9月までの期間において、同国の輸出は14.3%のペースで増加しており、1桁台の伸びにとどまった月は5か月のみで、マイナス成長となった月は1か月に限られている。

2024/25コーヒーフィードの総出荷量は1,346万袋に達し、過去3番目に高い水準となった。これは

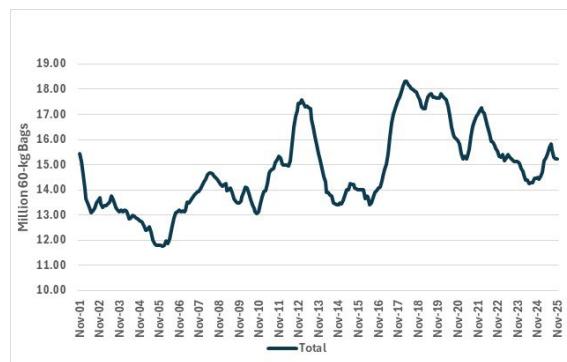
2016/17年度の1,349万袋および2018/19年度の1,350万袋に次ぐ規模である。

2025/26コーヒーフィードの初期において、低水準の1桁成長が2か月連続して続いたことに加え、2024/25年度における出荷量が過去最高水準に近い水準であったことは、コロンビアが現在の輸出能力の上限に近づきつつある可能性を示唆している。ただし、こうした制約は、今後の投資動向次第で変化する可能性がある。

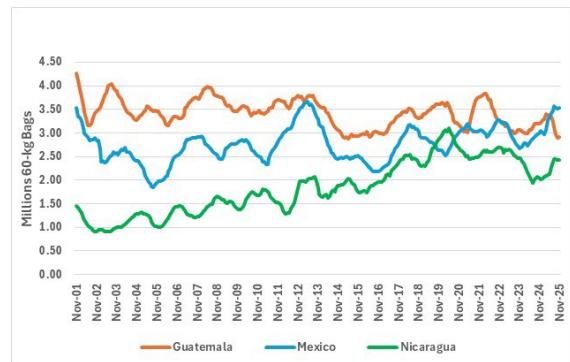
**2025年11月、メキシコおよび中米からの全形態のコーヒー輸出は、2024年11月の38.6万袋と比較して1.2%増加し、39.1万袋となった。**同地域の2025年11月における低い一桁台の成長率は、ホンジュラスおよびニカラグアの大幅な増加が、メキシコの減少によってほぼ相殺された結果を反映している。ホンジュラスとニカラグアの輸出合計は、1年前の5万袋から12万袋へと156.6%増加した一方、メキシコの出荷は21.6%減少して18万袋となった。

コーヒーフィード2025/26の最初の2カ月において、同地域全体の輸出は10.4%減少しており、これは2025/26コーヒーフィード序盤における低い一桁台の成長と、2024/25のほぼ記録的な出荷水準を踏まえると、今後の年内のトレンドを示唆する可能性がある。メキシコおよび中米からの輸出は、コーヒーフィード2017/18以降、減少トレンドにあり、同年度の1,794万袋というピークから2023/24には1,446万袋へと低下した。こうした輸出の下落トレンドは、主としてホンジュラスとニカラグアの寄与によるものであり、同地域の生産が2017/18年度の2,148万袋から2024/25見込みの1,830万袋へと減少している動きと整合している。

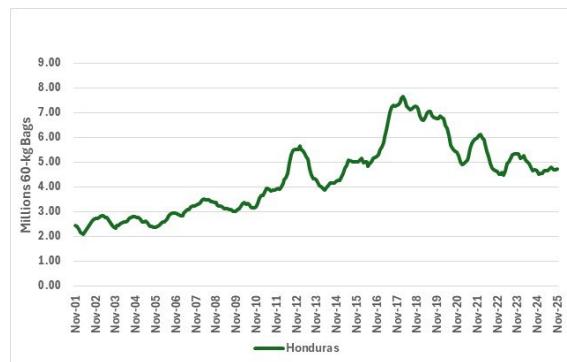
図IV：12カ月移動合計（12-MMT）—メキシコおよび中米からの全形態コーヒー輸出



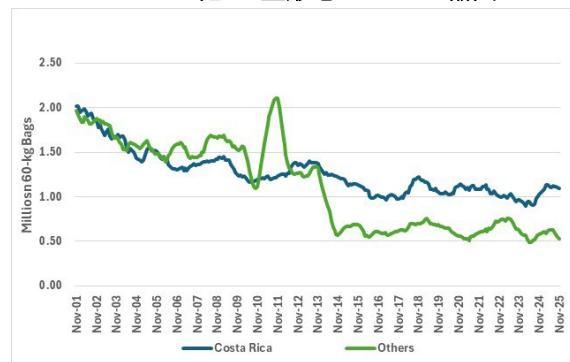
図VI：12カ月移動合計（12-MMT）—グアテマラ、メキシコおよびニカラグアの全形態コーヒー輸出



図V：12カ月移動合計（12-MMT）—ホンジュラスの全形態コーヒー輸出



図VII：12カ月移動合計（12-MMT）—コスタリカおよびその他\*の全形態コーヒー輸出\*

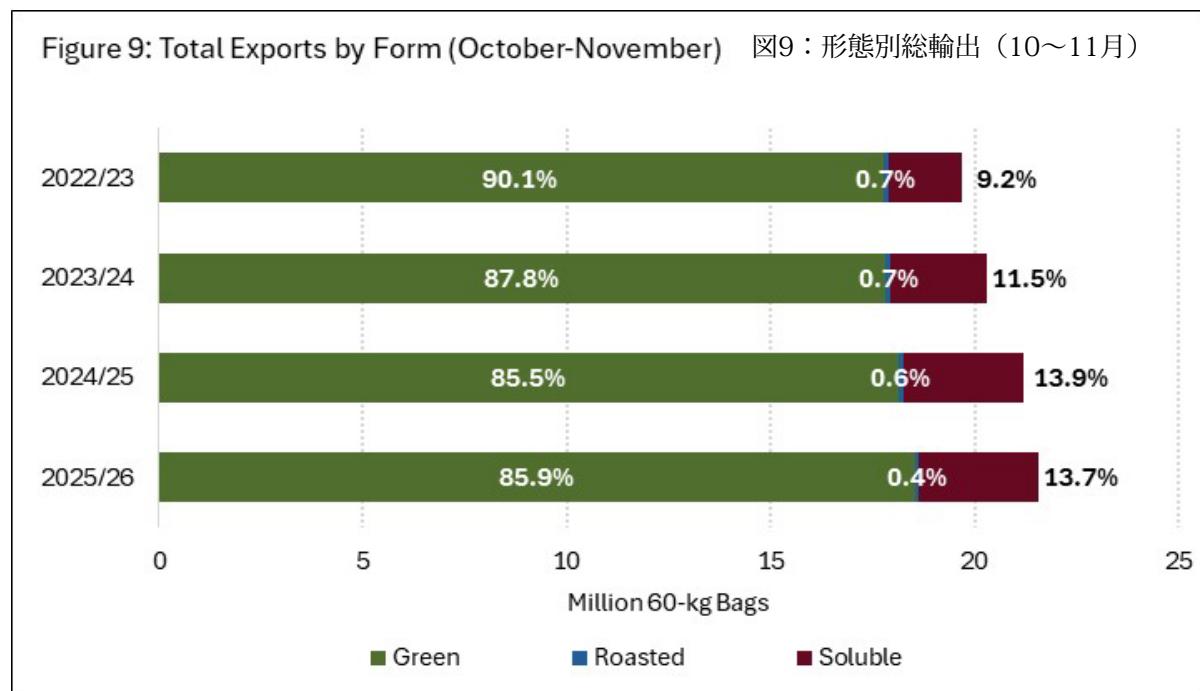


\*「その他」には、キューバ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ハイチ、ジャマイカ、パナマ、トリニダード・トバゴが含まれる。

注：上記の図は、2001年11月から2025年11月までの期間について、12カ月移動合計（MMT）ベースで輸出を示したものである。

## 形態別コーヒー輸出量

生豆は依然として輸出形態の中で圧倒的に大きなシェアを占めており、コーヒ一年度2025/26の最初の2カ月における総輸出の85.9%を占めた。一方、ソリュブルおよび焙煎コーヒーのシェアは、それぞれ13.7%および0.4%であった。



ソリュブルコーヒーの総輸出は、2024年11月の149万袋から2025年11月には148万袋へと0.6%減少した。2025年11月のソリュブルコーヒーの最大輸出国はブラジル、インドネシアおよびベトナムであり、それぞれ27万袋、31万袋、37万袋を出荷した。

焙煎豆の輸出は、2024年11月の6万袋から2025年11月には4万袋へと28.7%減少した。

表1: ICO指標価格と先物価格(US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
<b>Monthly averages</b>							
Jan-25	310.12	351.93	354.47	339.18	245.29	328.94	234.33
Feb-25	354.32	410.64	409.48	401.10	263.08	388.18	253.48
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
Apr-25	335.76	394.14	392.84	378.27	246.39	370.37	235.69
May-25	334.41	395.59	397.84	380.02	237.76	368.21	224.63
Jun-25	295.06	360.08	363.16	338.53	196.21	329.56	183.21
Jul-25	259.31	322.37	325.50	297.04	167.19	289.17	153.43
Aug-25	297.05	366.72	366.32	336.88	199.13	328.57	181.43
Sep-25	324.62	403.77	400.21	374.91	210.85	366.31	197.56
Oct-25	326.38	403.25	403.79	373.47	215.06	366.00	202.16
Nov-25	330.44	408.75	410.31	380.17	214.91	373.57	202.33
Dec-25	304.68	382.32	381.14	355.38	190.53	347.71	178.87
<b>% change between Nov-25 and Dec-25</b>							
	-7.8%	-6.5%	-7.1%	-6.5%	-11.3%	-6.9%	-11.6%
<b>Volatility (%)</b>							
Nov-25	11.1%	11.3%	11.2%	12.1%	12.2%	12.5%	12.8%
Dec-25	9.6%	10.2%	9.8%	11.0%	10.9%	11.0%	11.6%
<b>Variation between Nov-25 and Dec-25</b>							
	-1.5	-1.1	-1.4	-1.1	-1.3	-1.5	-1.2

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表2:価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Jan-25	-2.54	12.75	106.64	15.30	109.18	93.88	94.60
Feb-25	1.16	9.54	147.56	8.37	146.40	138.03	134.70
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
Apr-25	1.30	15.87	147.75	14.57	146.44	131.87	134.67
May-25	-2.25	15.57	157.83	17.83	160.09	142.26	143.58
Jun-25	-3.08	21.55	163.86	24.63	166.95	142.32	146.35
Jul-25	-3.13	25.32	155.17	28.45	158.31	129.85	135.74
Aug-25	0.41	29.84	167.60	29.43	167.19	137.76	147.14
Sep-25	3.56	28.86	192.92	25.30	189.36	164.07	168.75
Oct-25	-0.54	29.78	188.19	30.32	188.73	158.41	163.84
Nov-25	-1.56	28.59	193.84	30.14	195.40	165.26	171.24
Dec-25	1.18	26.95	191.80	25.76	190.61	164.85	168.85
<b>% change between Nov-25 and Dec-25</b>							
	-176.1%	-5.7%	-1.1%	-14.5%	-2.4%	-0.2%	-1.4%

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2021	2022	2023	2024	% change 2023/24
<b>PRODUCTION</b>	<b>165,092</b>	<b>165,785</b>	<b>168,707</b>	<b>177,513</b>	<b>5.2%</b>
Arabica	91,737	93,876	97,674	102,065	<b>4.5%</b>
Robusta	73,356	71,910	71,033	75,448	<b>6.2%</b>
Africa	19,589	18,865	21,173	22,782	<b>7.6%</b>
Asia & Oceania	51,063	49,275	46,035	49,637	<b>7.8%</b>
Caribbean, Mexico & Central America	18,053	18,214	17,161	18,304	<b>6.7%</b>
South America	76,388	79,431	84,338	86,790	<b>2.9%</b>
<b>CONSUMPTION</b>	<b>170,500</b>	<b>176,855</b>	<b>172,578</b>	<b>175,071</b>	<b>1.4%</b>
Exporting countries	54,438	55,664	56,344	57,742	<b>2.5%</b>
Importing countries (Coffee Years)	116,062	121,191	116,233	117,329	<b>0.9%</b>
Africa	12,677	12,446	11,566	12,145	<b>5.0%</b>
Asia & Oceania	42,422	43,534	44,163	47,447	<b>7.4%</b>
Caribbean, Mexico & Central America	5,752	5,980	5,957	6,172	<b>3.6%</b>
Europe	52,350	56,001	54,178	53,552	<b>-1.2%</b>
North America	30,228	31,324	28,694	27,745	<b>-3.3%</b>
South America	27,071	27,570	28,020	28,010	<b>0.0%</b>
<b>BALANCE</b>	<b>-5,407</b>	<b>-11,070</b>	<b>-3,871</b>	<b>2,443</b>	
*preliminary estimates	0.00	0.00	0.00	0.00	

表4: 輸出国の総輸出量

	Nov-24	Nov-25	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
<b>TOTAL</b>	<b>10,088</b>	<b>10,473</b>	<b>3.8%</b>	<b>21,183</b>	<b>21,568</b>	<b>1.8%</b>
Arabicas	6,712	6,363	-5.2%	14,151	13,688	-3.3%
Colombian Milds	1,351	1,318	-2.5%	2,491	2,509	0.7%
Other Milds	1,256	1,505	19.8%	2,840	3,166	11.5%
Brazilian Naturals	4,105	3,540	-13.8%	8,820	8,012	-9.2%
Robustas	3,376	4,110	21.8%	7,032	7,881	12.1%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Jan-25	Feb-25	Mar-25	Apr-25	May-25	Jun-25	Jul-25	Aug-25	Sep-25	Oct-25	Nov-25	Dec-25
New York	0.91	0.84	0.80	0.85	0.93	0.91	0.83	0.77	0.62	0.47	0.44	0.48
London	0.76	0.72	0.74	0.71	0.92	0.87	1.18	1.13	1.08	1.01	0.73	0.71
In million 60-kg bags												